



2017年9月

第267号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 小口 多津子
副会長 並木 信一
書記 茂木 稔・山本 英次
会計 長谷川 あや子
ネット会長 辻 久子
担当主事 中里 敦
プリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清・多河 敏子
直前会長 中塚 辰生

国際会長 Henry Grindheim (ノルウェー) 主題 “Let us walk in the Light together” 「ともに、光の中を歩もう」
スローガン “Friendship across the borders” 「国境なき友情」
アジア地域会長 Tung Ming Hsian (台湾) 主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事主題 栗本 治郎 (熱海) : 「広げよう ワイズの仲間」
「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」
あずさ部部長主題 大野貞次 (東京西) 「継続は力なり一歩でも前に一歩してあげよう」
クラブ会長主題 小口多津子 (八王子) 「無理なく、地に根を張って」

2017年9月例会プログラム

(担当: B班) 茂木、並木、望月、花輪、久保田

日時: 9月9日 (土) 18:00~20:00

場所: 八王子市役所北野事務所 2階大会議室

受付: 望月、花輪

司会: 久保田

開会点鐘

ワイズソング

ワイズの信条

ゲスト・ビジターの紹介

聖書朗読・食前感謝

会食

卓話「食と健康」

—健康寿命維持のための食生活のあり方—

卓話者 星野厚子先生

(ふるさとの食を拓く会代表)

東京 YMCA からの説明

「全国 YMCA ブランディングの説明」

報告・連絡事項

スマイル (九州北部豪雨支援金)

ハッピーバースディ

閉会点鐘

小口会長

一 同

一 同

会長

並木

小畑 貴裕

会長・担当

茂木

望月

会長

巻頭言

<「ユース」を考える>

中里 敦

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです」(コリントの使徒への手紙 2:4章 18 節) これは、西東京センターの年間聖句でもあります。

昨年、西東京60年記念会を開催し、160名を超える人たちが集まり旧交を深めあうことができました。リーダーとして関わった期間は4年前後だったにもかかわらず、数十年経った今でも関係が続いていてその時の結びつきの強さを実感する時でもありました。大学、短大、専門学校の時代とはどのような時なのでしょう。社会に出ている人も多くいる時ではありますが、最後の学生生活です。将来の夢に向けて様々邁進

先月の例会ポイント (8月)		BF ポイント	
在籍	17名	切手 (国内・海外)	267g
メン	11名	累計	422g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	65%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	0円
ゲスト	1名	累計	5,906円
ビジター	0名		
ひつじぐも	0名	オークション	0円
		累計	0円

聖句

「ご存じのとおり、わたしはこの手で、わたし自身の生活のためにも、共にいた人々のためにも働いたのです。あなたがたもこのように働いて弱者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。」このように話してから、パウロは皆と一緒にひざまずいて祈った。」

(使徒言行録20章34節~36節)

し、エネルギーあふれる時期でしょうか。そして、固定概念にとらわれず色々なことを吸収し蓄える反面、YMCAでの体験に悩み、考えながら社会人になるための準備をする時期でもあります。また、YMCAは学校の仲間とは異なり、今までとは少し違った関係の集団です。キャンプで例えられるようにそれぞれの役割がありながらも平等な世界であり、互いの存在を尊重し合っています。

研修の中でYMCAは出会いの場であり、分かち合う場だという話を聞いたことがあります。現代は、顔を会わずともつながれ、集団の中に居ることで安心します。しかし、分かち合わない世界はつながっていても、人格が見えず不安を感じているように思います。多感なユースの時期に多くの仲間と出会い、つながり、たくさん共有体験を通して、互いを認め合い、受け入れ受けとめられていくことを積み重ねていくことで、つながりがより強くなり、自分自身もよくなっていくのだと感じます。そのような時期のつながりは、その後の社会の中では得られないものになっているのではないのでしょうか。だからこそ、何年たっても60年記念会で実感した結びつきの強さが続いているのだと感じます。

人とのつながりは、目に見えるものではなく互いに感じるものです。リーダーたちは、YMCAだけでなく、学校、アルバイトなど様々忙しく過ごしています。日々のことにとらわれることもあるかと思います。しかし、YMCAで過ごす時間はその時だけのものではなく、その後の人生にも生かされていきます。社会に出た時そのことに気づき、共に過ごした仲間が財産となるようなYMCAであるように願っています。

直前会長・メネット会長感謝会

長谷川あや子

八王子クラブでは設立当初から、8月例会は前年度重責を担って下さった直前会長・メネット会長への感謝会として、いつもの例会会場を移し、ホテル、又は八王子セミナーハウス、高尾わくわくビレッジなどで感謝と懇親のひとときを持ってまいりました。

ここ数年は北野駅前の欧風創作料理「ファイン」で行うことが多かったのですが、「このお店、美味しいよ」と故橋本秀昌さんが紹介して下さいましたのがそもそものきっかけでした。

7月28日に橋本さんの急逝のお知らせを受け、私たちは茫然自失、本当にショックでしたが、その後お通夜、告別式が終わり、8月12日の感謝会はまず橋本さんを偲んでの黙祷から始めました。続いて小口会長の挨拶と直前会長である中塚さん、直前メネット会長である並木雍子さんへの感謝の言葉が述べられ、ささやかですがクラブからお礼の品が渡されました。八王子クラブも最初の頃は初めての会長が続いたのですが、最近はずいぶん2回目の会長職が回ってくるようになりました。ワイズの会長はクラブメンバー

への各種連絡に始まり、あずさ部や東日本区からの通知がすべて会長宛ですので、その対応を締め切りまでにしなければならず気を抜くことができません。会長のお蔭でクラブがスムーズに回っていきます。一年間、本当にありがとうございました。

ビールやワイン、ジンジャーエールなど好きな飲み物を注文し、家庭ではなかなか作れないような欧風料理に舌鼓を打ち、席は少々窮屈でしたがお隣同士話が弾み和やかに時間が流れていきました。そして、中学・高校時代の親友でいらした山本さんから橋本さんのこの1か月前あたりから最後のご様子などを伺い、それぞれの思いに浸りました。

現在休会中の酢屋さんが出席して下さい、近況を伺うことが出来たのは特別嬉しいことでした。又、田中寛さんに誕生日カードの寄せ書きが出来たこともよかったです。

高尾わくわくビレッジの花壇の今の様子を茂木さんからお聞きし、夏の終わりの仕事(草取り)の予定を立てました。秋に向けてもうひと頑張ですね。



並木雍子前メネット会長



中塚辰生前会長

YMCA 夏祭り (東陽町) 報告

小口多津子

8月の最終土曜日、やっと夏らしく太陽がさんさんと、幾分少し風も涼しくて、参加の子供達も「これが終わったら新学期だ〜」という顔で集まっていました。

朝、10時に着くと私達八王子、武蔵野多摩クラブと協働の西東京センターのブースでは、売り物の十勝直送の「トウモロコシ」が既に皮をむかれていました。あちこちのワイズやコミュニティセンターのブースでは、準備真っ盛り。この時間が本当に楽しいです。

11時にオリエンテーションの挨拶が始まって、いよいよ11時半に販売開始。

焼きたてトウモロコシに醤油のたれをかけて、(このお醤油は長谷川さんが自宅から2.8Lも抱えて運んできたものでした)。出来上がりのこの温かぬにおい。十勝直送に自信を持って、2時間ほどで目標の150本を完売させました。1本が300円。私も1本買って食べましたが、やはりこの会場の雰囲気の中で食べるのが一番おいしいです。

いつの間にか2部のジャズのバンド演奏が始まり、ダイナミックな懐かしいポピュラー音楽、そのすき間を売り場の呼び込みの素っ頓狂な声が生々響き渡ります。演奏の最後に、あの西城秀樹の歌で有名なY・M・C・Aがアレン

ジを変えて何回も演奏され、体がみな揺れて会場は最高の盛り上がりでした。

♪ヤングマン、さあ立ち上がれよ、 ヤングマン、今飛び出そうぜ、
ヤングマン、もう悩む事はないんだから、ヤングマン、ほら見えるだろう・・・

私には、YMCAは楽しいよ、いい事あるよ、という声に聞こえてきました。

最後はお楽しみの抽選会がありました。預かってきた皆の抽選券を手握りしめて、聞き漏らしのないように緊張の時間。預かった中塚さんの券に1等が当たって壇上に呼ばれました。(八王子参加者は、中里さん、長谷川さん、久保田さん、酢屋さん、小口)

甲府21クラブ納涼例会に参加して

長谷川あや子

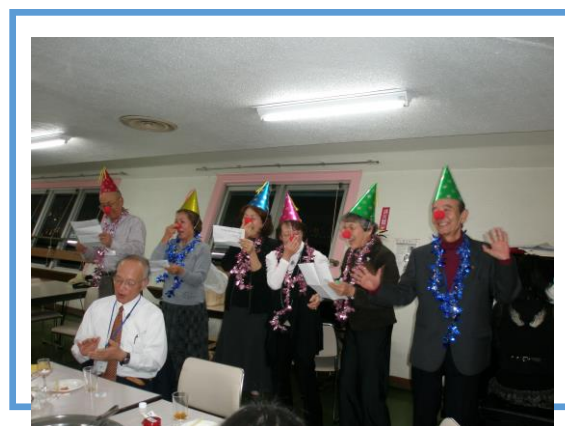
8月27日、恒例の甲府21クラブ納涼例会に参加いたしました。昨年までは「金桜園」で夕方から夜の時間にかけてでしたが、今年は14時半から、甲州市の「一古園」に会場を移しての納涼例会でした。13:58山梨市駅に到着。小口さん、高尾山Gの岡垣さん、サンライズクラブの長津さんと一緒に山梨YMCAの車に乗せて頂きました。会場にはすでに大野部長、会員増強主査の菰刈さんも見えていました。

甲府21クラブの方達と挨拶を交わしながらテーブル席に着きましたが、まるで久しぶりに親戚に会ったような懐かしさと安心感を覚えました。佐藤会長の力強い開会点鐘、会長挨拶の後、入会式が執り行われました。夏の宵の風に吹かれながら素晴らしいぶどう棚の下での入会式・・・入会された方は1965年生まれの方、なんと故米長邦夫永世棋聖の甥に当たられる方です。これからの活躍が期待されます。

第二部の懇親会では最初にハッピーバースデーがありました。駒田勝彦メン、相川泰代メネット、山形洋子メネットから一言メッセージがありました。毎年、ぶどう棚の下でお祝いして頂けるなんて嬉しいことですね。ビールやワイン、ぶどうジュースを飲みながら親しく懇談のひとつき、荻野清メンの名司会で全員が一言、いえ、それ以上のスピーチタイム。ゆったりと時は経っていきました。17時に閉会し、又山梨市駅まで送っていただきました。甲府21クラブのみなさま、ありがとうございます。



橋本秀昌さんを偲んで



クリスマス例会の余興を楽しむ橋本君

長谷川あや子

私は入会した頃、「八王子クラブは仲良しクラブだね」と他クラブの方からよく云われました。それは橋本さんが八王子クラブの中心的存在で、いつも周囲に気を配り私達を引っ張って下さったからだと思います。はじけるような笑顔とユーモア、皆を巻き込むエネルギーでクラブをまとめて下さいました。

頼もしいお兄さんでした。賑やかなことが大好きで歌もお上手でしたね。部会や区大会、DBC旅行などクラブ大勢で参加した、あの楽しかった懐かしい日々を思い出しています。特に1999年の北海道でのアジア地域大会の後の知床旅行は最高の思い出です。私たちにとって第二、第三の青春時代でしたね。今までありがとうございます。今は神さまの御許で安らいでいらっしやるでしょう。どうぞこれからも私達を見守って下さいね。平安をお祈りいたします。

大阪セントラルクラブ 宇都宮 垂徳

この度の橋本秀昌様のご逝去のお知らせを、唯々深い悲しみをもって承りました。京都での合同例会の2日間では、橋本氏のDBCへの温かい思いが籠ったお姿で、しっかり記憶にあります。あの時も、きっとお体の痛みも大変であられたでしょう。感謝の気持ちでいっぱいです。

橋本様の生前のワイズ活動へのご貢献と、私たちDBCへのご尽力に対し心から尊敬と感謝を表し、亡き氏の御霊が、今は神様のみ許にて安らかに居られますように、心からお祈り申し上げます。

今日から八月、盛夏の炎天下の日々となります。皆さまの上に、神さまのご加護とお導きがありますように。また、お会いします日まで。

久保田貞視

橋本さん、本当に残念です。ワイズ立あげの時からご一緒し、当初はむしろご指導いただきながら23年。余生をワイズで楽しくいうときに先立たれ。心よりご冥福をお祈りいたします。

並木 信一

橋本さんが永眠なされたことを山本さんよりお知らせいただき、驚いています。御霊の平安を心よりお祈りいたします。献花のこと、並木もご一緒させて下さい。よろしくお祈りいたします。

中塚辰生

橋本秀昌さん。永年のご交誼に、感謝申し上げます。早い旅立ちに、残念です。安らかに、旅立ち下さい。

茂木 稔

2年前のDBCで、大阪セントラルが企画してくれた京都の旅は大変素晴らしく、渡月橋近くの宿「花のいえ」も風情あり、天龍寺から大河原山荘の竹林の中を、橋本さん、丸尾さん、私は一緒に歩きました。(写真があります)大河内山荘の起伏のある庭をめぐりましたが、別に体が大変な様子は見せずに回りました。翌年の浜名湖の折は実際は皆と行きたかったのですが、参加できずに残念そうでした。あの爽やかな笑顔と話し振りをもう一度聞いてみたいものです。

多河敏子

尻揚げの帰りに、山本さんの車に乗せていただき、相模原の施設に入所中の橋本さんを見舞いに行きました時はとてもお元気そうでしたので、安心しておりました。お元気な頃の橋本さんを思い出します。ご仏壇におあげする生花などの中に入れてくださるようお願いいたします。

小口多津子

今日の橋本さんのご訃報には本当にびっくりしました。心から、ご冥福をお祈りします。先の3月に浅川での尻揚げの帰りに6名で、山本さんの車で滞在先にお訪ねして、時間も忘れて話し合ったのが、昨日のようです。あの時は本当にお元気で、お一人でおしゃべりされていました。私はおとといですが、ふと橋本さんを思い出して、12日の直前会長感謝会にタクシーに乗ってでも参加できないかを思っていたばかりでした。気持ちでは、あの3月の時のままでしたから。こんな日が来るとは思っていませんでした。それから、クラブ有志でのお花一基にも、是非加えて下さい。お手配など宜しくお祈り致します。最後ですが、山本さん、本当に良く親身に、橋本さんに尽くされましたね。

田中 寛

橋本さんのご逝去のご連絡に驚いています。心からお悔やみ申し上げます。3年前に胃がんから回復された頃の橋本さんのお姿を思い出

しました。お通夜、告別式に参加はできませんが生花を贈るメンバーに加えて頂きたいと思います。

中里 敦

ご連絡ありがとうございます。橋本様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。この件は、会員部の沖さんにもお伝えをいたしました。



9月例会卓話者紹介 星野 厚子様略歴

管理栄養士・食生活アドバイザー、ヘルスカウンセラー資格取得
学位:名誉博士(科学専攻)米国クレイトン大学大学院文化科学
経歴:元戸坂女子短期大学教授、ふるさとの食を拓く会代表、元アジア民族造形文化研究所教授。元アジア民族造形学会副会長
専門:栄養学各論、応用栄養学、臨床栄養学、食文化論、フードコーディネート論、テーブルコーディネート論。 著書:応用栄養学、臨床栄養学、その他

＜西東京センター 主な行事予定＞

【9月】

23日(土・祝)「第31回国際チャリティラン」@木場公園(江東区)

10月】

1日(日)「西東京ファミリーフェスティバル」
@高尾 森わくわくビレッジ

定例野外活動毎にブースを出し、定例野外活動登録者やキャンプ参加者が家族とともにブースを回りながら、工作やクッキング、ゲームなどを楽します。最後には全員でキャンプファイヤーも予定しています。リーダーの元氣振りとおファミリーの笑顔を見にいらしてください。また、ぜひお手伝いいただける方も募集中です。

【11月】

3日(金・祝)「ペタペタの会」

23日(木・祝)「西東京センターのつどい」

詳細は後日お知らせします。ご予約ください。

アジア・パシフィック地域大会記念写真



BC:台湾高雄ポートクラブの Lee Ho-Tsung さん、
Huang Hui-Ling さん



久保田さんとAYC参加の渡辺敦君（ひつじぐも）

「10月14日（土）第一例会は中大ナイト」
中央大学ひつじぐもの学生さんが例会を
主催します。皆さんのご参加をお待ちし
ます。

西東京センター便り

中里 敦

この夏も小さな怪我や病気はありましたが、キャンプを無事に終えることができ、皆様の祈りや神様に守られたことを感謝いたします。

今年は、昨年以上に参加者も増え多くの子どもたちがキャンプに参加してくれました。キャンプを見ていて改めて良さを感じることができました。

キャンプは非日常の生活と言われますが、日常と同じように大切にしている部分があります。それは食事と睡眠です。YMCAの多くのキャンプは、グループワークの一つとして行うことはありますが、自炊やテント生活ではなく、栄養管理された食事を提供し、宿泊施設の布団でしっかりと睡眠をとるようにしています。それは、食事と睡眠は子どもの心と体の成長に大きく影響するからです。成長に欠かせない部分はキャンプでも大切にしています。しかし、子どもたちに話を聞くとき遅くまで起きていたり、睡眠時間がしっかりと取れていない気がします。その点では、非日常になってきているのかもしれない。

もちろん非日常の生活も子どもたちにとって貴重な体験です。テレビやゲーム等一人で楽しめる物はありません。グループの仲間やリーダーと過ごすことになります。最初は、表面的な関係から自分を抑えて過ごせますが、時間が経つにつれ、我慢できなくなり、ぶつかり合うことも増えてきます。そこで人それぞれの違いを認識し、どうやったら一緒に楽しめるのか考えなければなりません。相手を認め受け入れ、受け止めてもらうことになります。お互いさまであったり、分かち合う世界を学んでいます。仲間がみつきり、つながり、自分自身が良くなっていくYMCAがそこにあります。また、自然と向き合うことは、いつも以上に五感を使います。当たり前の生活ではないから、考えたり、感じたり心を多く使うのがキャンプです。

参加者、リーダーにとりこの夏の体験がそれぞれの将来に生かされていくことを願っています。今後も西東京センターのお支えをお願いいたします。

（お話）

今回の聖句選択の理由は、有名なテレビドラマ「相棒」の主演杉下右京さんのセリフに「聖書に『受けるよりは与える方が幸いである』とある」とあったからです。これはパウロがエフェソの長老たちに話した言葉の最後の部分にあつて、涙を誘う切々たる話で有名ですが、ここで話題としたいのはイエスの言葉です。

パウロが取り上げたイエスの言葉は、誰もなるほどと納得する名句ではありませんが、福音書の中にはイエスの言葉に該当する句がないのです。パウロが嘘を言うはずがありませんから、「口伝」であったのかもしれませんが。昔は皆何でも暗記していたようで、文書化されるまでには時間がかかったようです。書かれていないイエス伝承のことは「アグラファ」といわれています。ユダヤ教は口伝を非常に大切にきて長い年月をかけて文書化した歴史を持っています。「アグラファ」の総合的な文書化が望まれるところです。

仲田達男

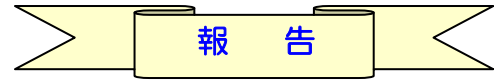
「高尾わくわくたより」9月号

古市 健

先月の本稿では、今年は梅雨らしい梅雨がない夏などとの書き出しでありましたが、8月は一転して雨ばかりの月となりました。東京では8月1日より21日連続で降雨を記録し、これは1977年の22日連続降雨に次ぐ、珍しい(当館からすれば嬉しい)出来事だそうであります。天気と忙しさのせいにはならないのですが、皆さまにお作りいただいた花壇の世話が疎かになり、雑草だらけにしてしまい申し訳ありませんでしたが、下旬にようやく元の状態に戻すことができ、以後なんとかサッパリとした状態を維持しております。今後も来館者のお顔を綻ばせることができるよう、維持に努めてまいります。

さて、当館で最も多くのお客様が訪れる8月がようやく終わろうとしています。天候は悪くとも、今年も大変多くのお客様に足をお運びいただくことができました。まだ数日残しておりますが、宿泊者数は4,000名を超え、昨年度同月を上回る事が確実となり、誠にありがたい限りです。また、今月は私ども主催のキャンプが3つありました。テント宿泊のキャンプでは雨を心配しておりましたが、小雨程度に止まり、予定していた行程のほぼ全てが実施でき、担当者とともに胸をなで下ろしました。おかげさまで全てのキャンプにおいて大きな怪我や事故がなく終了いたしました。参加者の安全を何よりも重要視するよう担当者とも話をしてきましたので、この結果に対し、担当スタッフに多大なる感謝をしております。

暑さも峠を過ぎ、夏が終わろうとしております。しかしながら夏休み期間を過ぎましても、9月も引き続き多くのお客様のご利用が予定されております。お体の不自由な特別支援学校のご予約も多くいただいております。現場はまだまだ気が抜けない状況が続きます。引き続きお客様の安全を最優先に、楽しい思い出を残していただけるようスタッフ一丸となって取り組んで参る所存です。



東京YMCA夏祭り 東陽町センター

トウモロコシ販売 150本 参加者:久保田、長谷川、小口 酢屋、中里

1. 協議事項

9月9日第一例会にて九州北部豪雨緊急支援募金 当日のスマイルを全額これに当て、切れの良い額にクラブ会計より支出予定。

2. 11月の第一例会は11月11日が北野事務所電気関係の検査のため、11月25日を第一例会として、11月18日を第二例会と予定しているが、A班班長長谷川さんの9月の事務所確認で決まる。

3. 9月2日(土)「災害スタディ」会場 東陽町センター 視聴覚室 13:00~16:00 参加費無料 参加希望者は自分で

4. 9月9日の第一例会は卓話「食と健康」星野厚子さん

5. 9月23日(土)チャリティーラン 西東京センターのエントリーに5万円クラブより寄付。武蔵野クラブと合同で10万円。

6. 10月14日第一例会 中大ナイト 大野あずさ部長訪問

7. 12月9日 クリスマス例会進行状況

パーティープラン1人2570円をお願いする。お酒代は別途 会費メンバー3,500円 学生 1,500円予定

8. 3月10日 チャリティーコンサートの件

北野市民センターの会場は確保済み 出演者の入れ替えがある予定とリーダーの上田さんからの話

9. 5月19, 20日 DBC 合同例会の件

今回は八王子の担当 候補地選定の案 三島柿田川、スカイウォーク研究する。

◇ 11月の例会会場決定

第一例会 11月11日(土) 北野事務所 大会議室

第二例会 11月18日(土) 北野事務所 小会議室

* 絹の道デイサービスセンター ボランティア*

【予定】9月は27日(水) ペーパーフラワー

14:00~15:00

*BF2017年8月報告

切手: 国内 237g (久保田、中塚、多河、小口) 累計 422g

海外 30g (久保田、多河) 累計 30g

プルタブ 8.6kg (調さん、久保田) 累計 8.60kg

9月誕生日の会員

大久保 重子さん 9月12日

大久保 清さん 9月20日

仲田 達男さん 9月22日